

## 世界緑内障週間啓発活動の実施～緑内障から眼の健康を守ろう～

緑内障は、世界中の国で、中途失明の原因疾患として上位にランクされている深刻な病気であり、我が国においても現在失明原因の第一位となっています。

一方で、早期発見・早期治療により、ほとんどの場合は失明を防ぐことができる病気になってきており、緑内障という病気を知っていただくため、世界緑内障連盟が毎年3月に「世界緑内障週間」として、啓発活動を世界中で展開しています。

日本緑内障学会では、緑内障についての正しい知識を広めるため、各地の公共機関や医療機関などと連携したライトアップに取り組んでおり、神戸アイセンター病院も趣旨に賛同し本年度も啓発活動に参加します。

### 1. 取り組み内容

- ① ライトアップ（アイセンター2階入口部分、5階、6階部分を緑でライトアップ）
  - ② 動画上映（2階ビジョンパーク内で、「緑内障」の疾患説明動画上映）
  - ③ オリジナルTシャツの着用（医療者等がTシャツを着用し、診察や検査を実施）
- ※ ①は2026年3月6日（金）から3月15日（日）の17時00分から21時00分まで  
②及び③は①の同期間の平日診察時間帯のみ

### 2. 神戸アイセンター病院 院長 栗本からのメッセージ

緑内障の早期発見で大きな問題となるのは、緑内障は病気がかなり進まないとは自覚症状が出て来ないということがあります。40歳を過ぎたら眼の定期健診を受けることを強くお勧めしたいと思います。

（参考）

#### ○イメージ写真

（診察風景イメージ）



（アイセンター正面イメージ）



（オリジナルTシャツ）



#### ○ライトアップ in グリーン運動：日本緑内障学会

[https://www.ryokunaisho.jp/light\\_up/ja](https://www.ryokunaisho.jp/light_up/ja)

#### ○神戸市立神戸アイセンター病院

自治体病院としては唯一の眼科専門病院として神戸市の眼科領域の中核病院であり、標準医療から iPS を活用した世界初の臨床研究の実施まで行っている。また、神戸医療産業都市に貢献するとともに、眼のワンストップセンターとしての役割を果たすべく、臨床研究から臨床応用へ、そして治療、障害者支援への橋渡しまで幅広い取り組みを進めている。